実施年度：令和 6 年度

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和　6　年　12　月　3　日(火)		
事業名	学校卒業後における障害者の学び支援事業　「障害者の学び」研修会		
趣　旨	市町村行政職員や公民館等の社会教育施設職員を対象とする学校卒業後の障害者の学び研修会を開催することで、「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」の成果や課題を共有し、県内に障害者の学びの場の普及を図る。		
会　場	さわやかちば県民プラザ　大研修室		
対　象	市町村生涯学習・社会教育・福祉担当課職員、公民館等の社会教育施設職員、 県内特別支援学校教職員等		
申込方法	当所ホームページ研修詳細ページ内「Web 申込」又は二次元コードから申し込む。		
募集定員	60名程度	募集期間	令和　6年10月　7日から令和　6年11月27日
参加者数	28名(受講者23名ファシリテーター5名)	参加費用	
講師　等	さわやか青年教室　講　師　平瀬麻依子　氏 さわやか青年教室　受講生　阿部　晃弘　氏		

実施内容

日程：

(1)開会　13:30～13:40

主催者挨拶

(2)研修　13:40～15:50

①社会教育施設への普及について

「令和3年度からの実践報告」さわやかちば県民プラザ　事業振興課

②発表　「障害のある方を対象とした講座に参加して」

さわやか青年教室
講　師　平瀬麻依子　氏

さわやか青年教室
受講生　阿部　晃弘　氏

③グループワーク　「障害のある方を対象とした講座を考えてみよう」

グループワークの様子1

グループワークの様子 2

各グループからの発表の様子

(3)閉会　16:00

参加者 アンケート	**【満足度 95%】** 〇事業報告について ・非常にわかりやすく県民プラザで行っていることがよく分かりました。公民館業務に生かせるようにします。 ・県としての障がい学習支援やこれまでの取組についても学ぶことができこれからの講座に向けて学ぶことができた。 〇発表について ・障がい者の方と普段から関わりのある先生から具体的な注意点をお聞きしたり、受講生本人から意見を聞くことができ様々な発見をすることができた。 ・ご本人の話がとても響きました。 〇グループワークについて ・自分の意見をみんなが言うことができ良いグループだったと思う。 ・普段話す機会のない方たちとそれぞれの立場で意見交換することができ、勉強になりました。 〇本研修会について ・このような研修は必要だと思います。ぜひ続けてほしいと思います。 ・当事者の「どう学びたい」が知りたいです。 ・さわやか青年教室参加者の声を伺うことができ、より実感的に事業を考えることができました。 ・障害者向け講座について様々な新たな発見・知識をつけることができとてもためになりました。
担当者の 所感	**【成果】** ・本事業の趣旨である『「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」の成果や課題を共有し』については、「令和3年度からの実践報告」により共有できたと考える。（参加者アンケートの事業報告についての結果からも共有できたと考える。）「県内に障害者の学びの場の普及を図る。」については、障害者を対象とした講座の講師及び受講生からの発表と、グループワークによって障害者を対象とした講座を受講者自ら立案・計画することで、障害者対象講座実施の期待が高まると考える。 ・グループワークについては、過去の実施講座担当者がファシリテーターになったことで、ファシリテーターの経験を踏まえてワークが進められ、円滑かつ有意義であった。 **【課題・今後の方向性】** ・次年度の研修会の内容については、今回のグループワーク形式主体での実施とするか、講演または昨年度実施のシンポジウムとするかテーマを含めコーディネーターをふまえ検討していきたい。 ・申し込み方法については、「プラント」による申込者を把握できていなかったことが課題である。今後は、県生涯学習課に確認することも必須だが、当所が「プラント」による申込者を直接把握できるよう対処する必要がある。